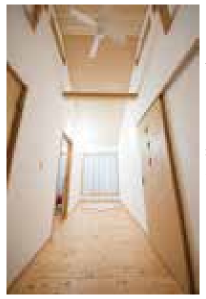
Case 05

自然素材にこだわった人が成長できる家。

群馬県／T様邸／木造

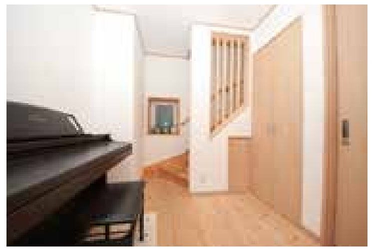
家族構成：夫婦＋子供2人

設計 建設 長期



◀奥様お気に入りは2階ホールの窓辺に腰掛けて本を読むこと。子供部屋にも目が届くベストポジションです。

階段を有効利用した収納と、空間を活かしたピアノスペース。▶



自然素材が持つ力を日々の暮らしで実感

築40年弱の古い住宅を購入し、リフォームをしながら暮らしてきましたが、あちこちガタもきていたし、子どもの小学校入学に合わせて建て替えることにしました。一番こだわったのは、自然素材をふんだんに取り入れること。年間を通して湿度が調整される漆喰壁、柱や床には無垢の木を使用。木材は国産であることにもこだわりました。木の香りに癒されると気持ちも優しくなれるので、毎日の暮らしのなかで「人が成長できる家」になったかなと思います。

また災害に強い家ということも念頭に置きました。停電でも断水でも、しばらくは暮らせるよう、太陽光エネルギーを活用できるようにしてもらいました。

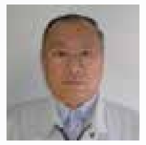
地震保険の割引も魅力だった住宅性能評価書

家を建てる際には工務店さんの構造・完成内覧会に参加し、見えるところは全て見せていただきました。住宅性能表示制度の説明もこの時丁寧に受け、地震保険の割引があることを教えていただきました。また、施工段階で国に登録された第三者機関による現場検査が複数回行われるとも聞き、安心感が増しました。

この家は配筋数が多い耐震性のベタ基礎に炭を吹きつけているので、構造もしっかりしているうえに防臭効果もあります。また出窓のようなデザインはお客様にも評判がよく、大変満足しています。以前はとにかく寒い家だったので、断熱効果の素晴らしさを毎朝感じているところです。

自然と仲良くしながら、快適さを追及。

コンセプトは「自然と仲良くする家」。太陽光をふんだんに利用しています、地窓や吹き抜けを設け、家の中に熱気だまりをつくらず排熱の工夫もしました。省エネ等級は最高級の4です。またお施主様のご希望である「和風で自然素材の家」を形にするため、壁は漆喰に。これがホルムアルデヒド対策にもなり、空気環境の等級は最高級の3になりました。



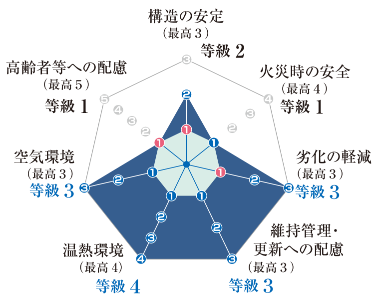
A社
担当：F様より

和室にも自然な給気口があり、空気環境を整えています。

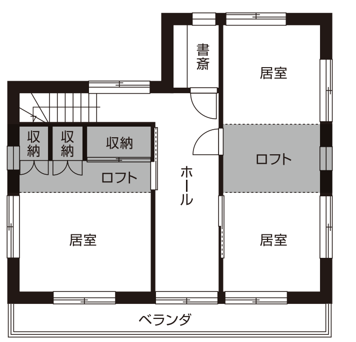
部屋内、ホール、ロフトに至るまで、壁には漆喰を採用。空気環境へのこだわりが感じられます。

屋根にはソーラーパネルを装備。自然と調和したお住まいです。

住宅性能評価レーダーチャート



2階



1階

取材担当コメント　自然素材の優しさが心地よいT様邸でした。

Case 06

自然エネルギーを取り入れた災害に強い家。

群馬県／Y様邸／木造

家族構成：夫婦＋子供1人＋母

設計 建設 長期

◀2階、手すりの下が本棚になっており図書館のように。スペースを有効に使っています。

玄関の照明は奥様こだわりの逸品。やさしく家族を迎えます。▶

万が一の時に備えて拠点となる家を整える

東北の大震災後、住まいは安全でなければならないと強く思うようになりました。建替はいずれしなければいけないので、どのような家なら災害に強いのか、また年を経ても快適に暮らせるのか突き詰めて考えました。行き着いたのは、自然エネルギーの活用。家そのものからも自然が感じられるよう、木材を多用した昔の日本家屋を目指しました。耐震はもちろんですが、群馬は冬が寒く風も強いので温熱環境も重視。井戸水があり、太陽光発電ができ、温熱環境の高い暖かい家なら災害時でも生活できるはず。万が一の時は地域の集会場として利用してもらえるように備えています。

ちょっとした工夫で暮らしやすさが広がる

自然は太陽だけではなく、風もうまく利用しています。洗面台の下にある窓は風の取り入れ口。夏は涼しい風が下から上へ家の中を循環して、心地よい流れを作っています。夏涼しく冬暖かい家になりました。年をとると寒さが身体に与えるダメージは大きいので、暖かいだけで暮らしやすくなるものだと実感しています。人が大勢集まるときには居間の仕切り戸を開け、1階を広いオープンスペースとしても利用できます。これも断熱性があるからできることだと思っています。

階段の手すり下を本棚にして図書館風にしたり、キッチン横の隙間にマガジンラックを設けるなど、ちょっとした工夫のおかげで使いやすく快適な家に仕上がったと思います。

こだわりを形にする難しさに挑戦。

災害に強い家を建てたいという施主様の強い思いと細かいこだわりを、性能を保ちながら形にしていくのはなかなか難しかったです。そのなかで、お庭の梅の木を階段の柱に用いたり、奥様のアイデアをいただいて階段手すり下を本棚スペースにしたり、遊び心のある施工を施しました。維持管理は最高等級の3なので、メンテナンスもしやすくしてあります。

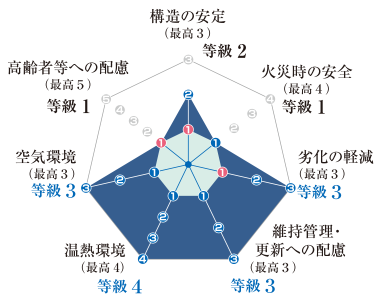
A社
担当：A様より

見事な壁の厚さ。厳しい冬でも、自然エネルギーを活かしつつ、快適に乗り切るための工夫です。

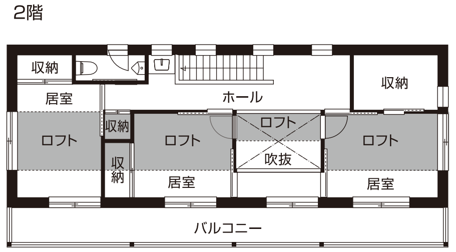
キッチン横の洗面台下部に設置された小窓。開放すると風が家中に巡るよう作られています。

玄関には「ヘルメット置場」。災害への意識の高さが窺えます。

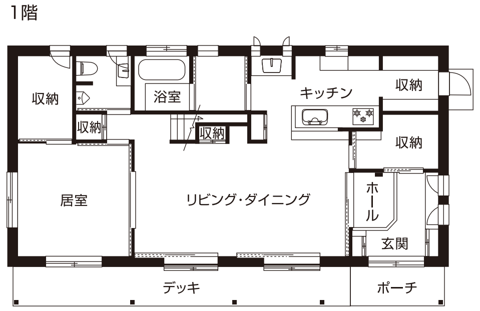
住宅性能評価レーダーチャート



2階



1階



取材担当コメント　災害に対しての意識が、随所に目に見えるお宅でした。

新築住宅の「住宅性能表示制度」とは
「長期優良住宅」とは
新築住宅
「低炭素建築物認定制度」とは
既存住宅
既存住宅の「住宅性能表示制度」とは